

# 緊急小口資金特例貸付借入申込書

社会福祉法人

北海道社会福祉協議会 会長 殿

申込みに当たり、下記事項に同意し、生活福祉資金の借入れを申請いたします。

- 記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で第三者に提供することに同意します。
- 貴社会福祉協議会が、貸付けに必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、自治体等の関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受けることに同意します。
- 私は現在、生活保護を受給していません。
- 私は現在、債務整理中ではありません。また、弁護士等に債務整理を依頼中ではありません。
- 本貸付金を事業の運転資金として使用しません。
- 私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。
- 私及び私の世帯の者は、暴力団員ではありません。また、借入期間中においても暴力団員にはなりません。
- 私は、貴協議会が必要に応じ官公署から私又は私の世帯員に係る暴力団員該当性情報の提供を求めることに同意します。
- 貸付審査の結果、貸付不承認となった場合、理由は開示されないことに同意します。

上記内容に相違ありません	氏名
--------------	----

※太枠内をご記入ください。

記入年月日	令和	年	月	日
-------	----	---	---	---

受付番号
------

申込金額	万円	据置期間 (12か月以内)	ア.12か月 イ.その他( )か月	償還期間 (24か月以内)	ア.24か月 イ.その他( )か月	償還方法	<input type="checkbox"/> 口座振替 <input type="checkbox"/> 払込取扱票
------	----	------------------	----------------------	------------------	----------------------	------	---

借入申込者	氏名				性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	大正 昭和 平成	年	月	日	(満 歳)
	現住所	(〒 - )										
	勤務先名称 または職業	自宅電話 ( )			／ 携帯電話 ( )			勤務先等住所 電話 ( )				

	氏名	続柄	年齢	生年月日	勤務先・学校名	特記事項(感染罹患等、要介護者、学校休校等)
1		本人		(凡例) 大正=T、昭和=S、 平成=H、令和=R		ア.罹患等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
2		夫・妻・子・父・ 母・その他		T・S・H・R 年 月 日		ア.罹患等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
3		夫・妻・子・父・ 母・その他		T・S・H・R 年 月 日		ア.罹患等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
4		夫・妻・子・父・ 母・その他		T・S・H・R 年 月 日		ア.罹患等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
家族数 名						

貸付金 振込先	金融機関	支店名	預金種別	<input type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 当座
	口座番号	口座名義人(カタカナ)		

借入理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減 <input type="checkbox"/> 今後10万円を超える資金需要があるため
------	--

本特例貸付の利用実績; ア.今回が初めての借入 イ.すでに借入したことがある(受付日: / 借用金額 万円)

外国籍の方で在留期間が1年以内の方; 在留期間が延長の予定

市区町村社協記入							
市町村名	市町村コード	民協コード	民生委員コード	民生委員氏名	取扱者名	区社協受付日	市町村社協受付日

道社協記入			
道社協受付日	貸付決定日	貸付決定額	貸付コード
令和 年 月 日	令和 年 月 日	円	

# 緊急小口資金（特例貸付）借用書

借 用 金 額		万円
---------	--	----

緊急小口資金特例貸付の貸付金として上記金額を借用いたしました。  
については、本借用書および重要事項説明書記載の厳守事項を固く守り、貴会の指示に従って、  
下記の条件により相違なく償還いたします。

令和 年 月 日 ※北海道社協記入欄

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会会長 殿

(借受人)

住 所	
氏 名 (自署)	
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日生

## 【借入要項】

1 貸付金の受領方法	借受人が指定する金融機関口座への振込による。	
2 貸付金の償還	据置期間	1 2 か月
	償還期間	2 4 か月
3 延滞利息	上記償還期間の最終日までに償還金を償還しなかったときは、償還期間経過後の残元金に対し、 年利 3.0%の延滞利息を徴収します。	

上記について同意します。[法定代理人（親権者を含む）または後見人]

住 所	
氏 名 (自署)	

上記について同意します。[法定代理人（親権者を含む）または後見人]

住 所	
氏 名 (自署)	

## 【留意事項】

- ①上記の太枠線は申込者本人が記入してください。
- ②据置期間は、送金日が属する月の翌月から開始となります。
- ③償還期間は、据置期間終了月の翌月から開始となります。
- ④繰上償還は、北海道社会福祉協議会が指定する金融機関口座となります。

地 区	年 度	資 金	貸付コード	受付番号	
				市区町村社協	

## 緊急小口資金特例貸付に関する重要事項説明書

### 生活福祉資金に関する告知事項

#### (貸付金の交付について)

1 当協議会は、貸付決定し、借入申込人から署名捺印した借用書の提出があったときは、貸付決定に係る資金（貸付金）を借受人の指定する金融機関口座に送金により借受人本人に交付いたします。

#### (管理システムへの登録と信用情報の回答について)

2 借受人が道外に転出した場合、全国社会福祉協議会の管理システムに道外転出者として生活福祉資金の貸付に関する情報を登録します。

また、他の都府県社会福祉協議会から生活福祉資金に関する信用情報の照会があった場合は、償還残額等、必要な情報に関し、信用情報を提供します。

#### (民生委員への通知について)

3 借入申込みの結果について、申込人の居住する地域において相談援助活動を行っている民生委員に通知することがあります。

#### (延滞利子について)

4 償還計画に定められた償還期限日までに償還金を支払わなかったときは、償還期限後の残元金に対し、年利 3.0% の率をもって延滞利子を徴収します。

#### (督促について)

5 最終償還期限日を経過して全額償還がされない場合は、当協議会又は市区町村社会福祉協議会が、借受人に対して督促を行います。

また、滞納が継続するときは、当協議会又は市区町村社会福祉協議会が、家計の状況等について、聞き取りや面接調査を行う場合があります。

#### (救済制度について)

6 借受人の申請により、当協議会会長が天災その他やむを得ない事情で支払いができないと認めるときには、償還金の支払いを一時猶予したり、免除することがあります。

#### (合意裁判所について)

7 借受人と当協議会の間で、訴訟の必要が生じた場合には、当協議会の所在地を管轄する裁判所を合意裁判所とします。

#### 8 生活福祉資金の利用に関する苦情

生活福祉資金の利用に関する借入申込人又は借受人からの苦情に対して対応するため、苦情受付窓口を都道府県毎に設置しております。

(1) 北海道社会福祉協議会の苦情受付窓口

生活支援部生活支援課 TEL 011-241-3765

(2) 福祉サービス運営適正化委員会

TEL 011-204-6310

(各都道府県社会福祉協議会へ相談しても解決しない場合、福祉サービス運営適正化委員会に苦情を申し出ることができます。)

### 借受期間中の厳守事項

この制度は、「資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を営ましめること」を目的としており、借受人は次の事項（生活福祉資金貸付制度要綱、要領等で規定される事項等）を厳守しなければならない。

1 貸付決定後に送付する償還計画に従い、所定の支払期日までに定められた償還金を納めなければならない。

2 借受人に次の事項が生じたときは、直ちに届出ること。

(1) 住所を変更したとき。

(2) 改名・改姓したとき。

(3) 死亡、または所在不明になったとき。

(4) 天災、火災その他重大な災害を受けたとき。

3 借受人が次の事項の一つに該当する場合には、貸付金の全部又は一部の返還を求めるか、貸付金の交付を取り消す場合がある。

(1) 他の借入金返済への充当等貸付金の用途をみだりに変更したり、他に流用した場合。

(2) 虚偽の申請、不正な手段により貸付を受けた場合

(3) 故意に償還金の支払いを怠った場合

(4) 貸付けの目的を達成する見込みがない場合

上記の事項について、全ての内容を了承しました。

令和 年 月 日 借受人 住所

氏名  
(自署)

※本資金は貸付金であり、償還（返済）していただく必要があります。

※本書の原本は、当協議会に提出し、副本（コピー）は借入申込者が保有してください。

収入の減少状況に関する申立書

北海道社会福祉協議会 会長 様

私が申込みをしました生活福祉資金の貸付金について、貸付の要件である新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少状況については、以下のとおりであることを申告いたします。

勤務先名称または 職業	
勤務先所在地	〒      ー  TEL      (      )
減少前の収入	令和__年__月時の月額所得（手取り）は、約__万円でした。
減少後の収入	令和__年__月時の月額所得（手取り）は、約__万円でした。
減少の理由	

令和    年    月    日

(借入申込者) 住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

## 確認チェックリスト（郵送する前に必ず確認してください）

借入申込の前に必ず以下の事項を確認し、借入申込書等と一緒に同封し郵送ください。

記入や添付書類に不備がある場合、貸付金の送金までに時間を要することがございますので、ご注意ください。

項 目	確 認 事 項	チェック
(1) 借入申込書 借用書 重要事項説明書 収入の減少状況に関する申立書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借入申込書（表）2か所に「氏名」を記入（太枠内）した</li> <li>・借用書に「住所」「氏名」「生年月日」を記入した</li> <li>・借用書に「借入金額」を記入した</li> <li>・借入申込書と借用書の据置期間、償還期間が一致している。</li> <li>・重要事項説明書（借用書の裏面）に「記入日」「住所」「氏名」を記入した</li> <li>・収入の減少状況に関する申立書に「記入日」「住所」「氏名」を記入した</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
(2) 住民票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民票に世帯全員が記載されている</li> <li>・借入申込書と住所が一致している</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
(3) 通帳、またはキャッシュカード（写）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預金通帳の金融機関名、支店、口座名義、口座番号が分かるよう、コピーした（※ネット銀行は不可）</li> <li>・預金通帳名義と借入申込書に記入した「氏名」「口座番号」が一致している</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
(4) 本人確認書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれかの本人確認書類をコピーし同封した               <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 運転免許証（住所変更している場合は両面コピー）</li> <li><input type="checkbox"/> 健康保険証</li> <li><input type="checkbox"/> パスポート</li> <li><input type="checkbox"/> マイナンバーカード（保護ケースに入れたまま表面のみコピー）</li> <li><input type="checkbox"/> その他（ ）</li> <li><input type="checkbox"/> 在留カード（特別永住者証明書） ※外国籍の方の場合</li> </ul> </li> </ul>	<input type="checkbox"/>
(5) 同封書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての書類が揃っている           <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 借入申込書（原本）</li> <li>b. 借用書・重要事項説明書（原本）</li> <li>c. 収入減少状況に関する申立書（原本）</li> <li>d. 住民票（世帯全員、マイナンバーの記載がないもの/原本）</li> <li>e. 預金通帳、またはキャッシュカード（コピー）</li> <li>f. 本人確認書類（コピー）</li> </ul> </li> </ul>	<input type="checkbox"/>

緊急小口資金特例貸付借入申込書

記入例

社会福祉協議会 会長 殿

申込書に1つでも該当しないものがある場合は、貸付の対象とはなりません。  
 ○記入は、本制度に必要となる個人情報を照会し、私の個人情報の提供を受けることに同意します。  
 ○私は現在、生活保護を受給していません。  
 ○私は現在、債務整理中ではありません。また、弁護士に依頼して債務整理中ではありません。  
 ○本貸付金を事業の運転資金として使用しません。  
 ○私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。  
 ○私及び私の世帯の者は、暴力団員ではありません。  
 ○私及び私の世帯の者は、官公署から私又は私の世帯員に係る暴力団員該当性情報の提供を求めることに同意します。  
 ○貸付金20万円以内の金額を記入してください。

下記に該当する世帯員がいる場合は、「特記事項」のいずれかに「○」を付けてください。  
 ア 世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者等がいるとき。  
 イ 世帯員に要介護者がいるとき。  
 ウ 世帯員に「うまたばエ」の子の世話をを行うことが必要となった労働者がいるとき。  
 エ 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、臨時休業した学校等に通う子。  
 オ 風邪症状など新型コロナウイルスに感染したおそれのある、小学校等に通う子。  
 カ 世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に要する費用が不足するとき。  
 キ 借入期間中においても暴力団員にはなりません。  
 ク 世帯員に係る暴力団員該当性情報の提供を求めることに同意します。

上記内容に相違ありません 氏名 ●● 一郎

※太枠内をご記入ください。  
 この欄は担当職員が記入します。

記入年月日 令和 年 月 日

申込金額	20 万円	据置期間 (12か月以内)	ア 2か月 イ その他 ( ) か月	償還期間 (24か月以内)	ア 24か月 イ その他 ( ) か月	償還方法	<input checked="" type="checkbox"/> 口座振替 <input type="checkbox"/> 振取極票
借入申込者	氏名 ●● 一郎	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	大正 昭和三十九年 3月 25日 平成 (満10歳)	住所	〒 〇〇市 ●● 〇〇 〇〇
勤務先名称または職業	飲食店経営	勤務先等住所	〇〇市 ★★ 〇〇 〇〇 電話 ●●● (●●●) ●●●●				

借入申込者の世帯状況	氏名	年齢	勤務先・学校名	特記事項(感染罹患者、要介護者、学校休校等)
1	カカ	平成=H、令和=R		ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
2	●● 桃子	40	●● 薬局	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
3	●● ころ	11	★★ 小学校	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
4				ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主

貸付金振込先 金融機関 ●● 銀行 支店名 ●● 支店 預金種別  普通  当座

借入理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減り、今後10万円を超える資金需要があるため

本特例貸付の利用実績;  ア.今回が初めての借入  イ.すでに借入したことがある  
 外国籍の方で在留期間が1年以内の方;  在留期間が延長の予定

在留期間が1年以内の方で、在留期間延長の予定がある場合は、ここに☑をご記入ください。

特記事項のアからオのいずれにも該当しないが10万円を超える貸付を希望する場合は、ここに☑をご記入ください。

希望がない場合は、アを選択してください。

「据置期間」とは返済が猶予される期間です。

「償還期間」とは返済をする期間です。

償還方法は原則、口座振替です。口座振替は、ゆうちょ銀行、北海道銀行、北洋銀行のみご利用できます。

借入申込者と同じ名義の口座を記入してください。※ネット銀行は不可です。

本特例貸付を初めて借りる場合は「ア」に、上限額以内で一度借りており、残りの額を改めて借りる場合は「イ」に☑をご記入ください。

# 記入例

## 緊急小口資金（特例貸付）

借入申込書でお申込みの金額をご記入ください。

借 用 金 額

20

万円

緊急小口資金特例貸付の貸付金として上記金額を借用いたしました。ついては、本借用書および重要事項説明書記載の厳守事項を固く守り、貴会の指示に従って、下記の条件により相違なく償還いたします。

記入しないでください。

令和 年 月 日 ※北海道社協記入欄

社会福祉法人 北海道社会福祉協  
(借受人)

必ず自署による署名をお願いします。

住 所	〇〇市■●●●●●
氏 名 (自署)	●● 一郎
生年月日	大正・昭和平成 ●● 年 3 月 25 日生

### 【借入要項】

1 貸付金の受領方法	借受人が指定する金融機関口座への振込による。	
2 貸付金の償還	据置期間	12か月
	償還期間	24か月
3 延滞利子	上記償還期間の最終日までに償還間経過後の残元金に対し、 <small>年</small> 3.0%	

据置期間、償還期間を短縮したい場合は、ご自身で二重線を引き、余白に借入申込書と同様の据置期間、償還期間をご記入下さい。

上記について同意します。[法定代理人（親権者を含む）または後見人]

住 所	必ず自署による署名をお願いします。
氏 名 (自署)	

上記について同意します。[法定代理人（親権者を含む）または後見人]

住 所	
氏 名 (自署)	

### 【留意事項】

- ①上記の太枠
- ②据置期間は、
- ③償還期間は、
- ④繰上償還は、北海道社会福祉協議会が指定する金融機関口座となります。

借入申込者が未成年者で婚姻していない場合は、親権者または後見人の自署による署名が必要です。

地 区	年 度	資 金	貸付コード	受付番号
				市区町村社協

この欄は担当職員が記入します。

# 記入例

## 緊急小口資金特例貸付に関する重要事項説明書

### 生活福祉資金に関する告知事項

(貸付金の交付について)

1 当協議会は、貸付決定し、借入申込人から署名捺印した借用書の提出があったときは、貸付決定に係る資金（貸付金）を借受人の指定する金融機関口座に送金により借受人本人に交付いたします。

(管理システムへの登録と信用情報の回答について)

2 借受人が道外に転出した場合、全国社会福祉協議会の管理システムに道外転出者として生活福祉資金の貸付に関する情報を登録します。

また、他の都府県社会福祉協議会から生活福祉資金に関する信用情報の照会があった場合は、償還残額等、必要な情報に関し、信用情報を提供します。

(民生委員への通知について)

3 借入申込みの結果について、申込人の居住する地域において相談援助活動を行っている民生委員に通知することがあります。

(延滞利子について)

4 償還計画に定められた償還期限日までに償還金を支払わなかったときは、償還期限後の残元金に対し、年利 3.0% の率をもって延滞利子を徴収します。

(督促について)

5 最終償還期限日を経過して全額償還がされない場合は、当協議会又は市区町村社会福祉協議会が、借受人に対して督促を行います。

また、滞納が継続するときは、当協議会又は市区町村社会福祉協議会が、家計の状況等について、聞き取りや面接調査を行う場合があります。

(救済制度について)

6 借受人の申請により、当協議会会長が天災その他やむを得ない事情で支払いができないと認めるときには、償還金の支払いを一時猶予したり、免除することがあります。

(合意裁判所について)

7 借受人と当協議会の間で、訴訟の必要が生じた場合には、当協議会の所在地を管轄する裁判所を合意裁判所とします。

8 生活福祉資金の利用に関する苦情

生活福祉資金の利用に関する借入申込人又は借受人からの苦情に対して対応するため、苦情受付窓口を都道府県毎に設置しております。

(1) 北海道社会福祉協議会の苦情受付窓口 生活支援部生活支援課 TEL 011-241-3765

(2) 福祉サービス運営適正化委員会 TEL 011-204-6310

(各都道府県社会福祉協議会へ相談しても解決しない場合、福祉サービス運営適正化委員会に苦情を申し出ることができます。)

### 借受期間中の厳守事項

この制度は、「資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を営ましめること」を目的としており、借受人は次の事項（生活福祉資金貸付制度要綱、要領等で規定される事項等）を厳守しなければならない。

1 貸付決定後に送付する償還計画に従い、所定の支払期日までに定められた償還金を納めなければならない。

2 借受人に次の事項が生じたときは、直ちに届出ること。

- (1) 住所を変更したとき。
- (2) 改名・改姓したとき。
- (3) 死亡、または所在不明になったとき。
- (4) 天災、火災その他重大な災害を受けたとき。

3 借受人が次の事項の一つに該当する場合には、貸付金の全部又は一部の返還を求め、貸付金の交付を取り消す場合がある。

- (1) 他の借入金返済への充当等貸付金の用途をみだりに変更したり、他に流用した場合。
- (2) 虚偽の申請、不正な手段により貸付を受けた場合
- (3) 故意に償還金の支払いを怠った場合
- (4) 貸付けの目的を達成する見込みがない場合

必ず、自署による署名をお願いします

上記の事項について、全ての内容を了承しました。

令和 2年 ●月 ●●日 借受人 住所 ○○市■■●●●●

氏名 ●● 一郎  
(自署)

※本資金は貸付金であり、償還（返済）していただく必要があります。

※本書の原本は、当協議会に提出し、副本（コピー）は借入申込者が保有してください。



# 記入例

## 収入の減少状況に関する申立書

北海道社会福祉協議会 会長 殿

私が申込みをしました生活福祉資金の貸付金について、貸付の要件である新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少状況については、以下のとおりであることを申告いたします。

借入申込書に記入した勤務先名称または職業と勤務先所在地、電話番号をご記入ください。

勤務先名称または職業	飲食店経営
勤務先所在地	〒 ***-**** 〇〇市★★●●-● TEL ●●● (●●●) ●●●●
減少前の収入	令和2年1月時の月額所得（手取り）は、約35万円でした。
減少後の収入	令和2年3月時の月額所得（手取り）は、約10万円でした。
減少の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来客数が減少したことによる減少

減少前の収入には、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前の収入を、減少後の収入には影響を受けた後の収入をご記入ください。  
減少の理由には、分かる範囲での減少の理由をご記入ください。

令和●年 ●月 ●●日  
(借入申込者) 住所 〇〇市■●●●-●

氏名 ●● 一郎